

にしいけ 西池



貯水量;48,500m³

築造年代;不明

貞享三年(1686年)以前に存在

西池は岡田上原村の南部ことでん琴平線の南側にあり、大東川の支流大窪谷川の浸食谷を利用して造られています。

大窪谷川を挟んで東側には天神池(回池)があります(天神池の西側にあるので西池といわれていますが岡田西村の池という意味で西村の池から西池となったとも考えられます)。

また下流部には川をせき止めて大窪池が築造されています。池の南側には香川用水が流れており、打越池以外にも西池分水工から取水することが出来るようになり、昔の水不足は解消されています。

西池は亀越池が築造された後小津森池、為久池などと同様に同時に築造されたものと思われ、当時では相当大きい池として灌漑面積も小津森池に次ぐ大きさでありました。

今も受益地は岡田西の約60%を占める井岡～西新田に至る約50haの農地を潤しています。